

令和6年度 第2回松江市いじめ問題対応専門家会議 会議録

1 日時 令和6年12月9日(月) 19:00～20:30

2 会場 松江市役所 第4別館 教育委員会室

3 出席者(順不同)

(1) 専門委員 6名(所属・敬称略)

長坂 正、高橋 悟、富澤 治、岩宮 恵子、深貝 登志子、森岡 俊則

(2) 松江市

藤原教育長、川上副教育長、生徒指導推進室奥原室長他5名

4 開会

○小川指導主事

ただいまより令和6年度第2回松江市いじめ問題対応専門家会議を開催いたします。

初めに、藤原教育長よりご挨拶申し上げます。

○藤原教育長

失礼します。いつもお世話になっております。ありがとうございます。今年度2回目となりました、専門家会議ということでございます。

本日は先ほど司会からもありましたように、事前にお配りしております3件の事案につきまして、様々なアドバイスをいただいていたところですが、現状の報告と、新しい案件についてまたアドバイスをいただければということで準備をしております。

教育委員会としても、いじめの対応だけではなく、不登校については、お聞きになったことがあるかもしれませんが、オンライン学習支援「ボタンねっと」を今年度から本格的に開始しております。登録者は現在60名ぐらいです。毎回10数名がオンラインで繋がって参加をしている状況です。我々も興味関心を持ってもらうための工夫として、例えばフォーゲルパークに出かけて行って、現場中継しながらいろんなことをお知らせするとか、松江城から中継するといった取組をしてきました。動画を流すと急にみんな退席するという結果も出ていまして、やはり先生とのやりとりというのが彼らにとってとても重要な役割を果たしているということが実感できているところです。

それから、保護者の皆さん、それから対象の子どもたちに、アンケートを継続して行うこととしております。このアンケートの回答率というのも1つのバロメーターだというふうに思っております。また不登校児童生徒の親御さんの意見交換というか、懇談の場を今年すでに2回やっております。自分のところだけではないのだという情報共有と、どういう対応をしたらいいのかというところを、親御さん同士がお話をされる機会も設けているところでございます。

いずれにしろ、これは1つの選択肢でしかございませんので、今後とも、いろんな居場所づくりに、取り組んでいければと思っているところです。

本日も貴重な時間でございますので、皆さん方から、積極的なご意見をちょうだいしますことをお願い申しあげて、開会に当たりまして私のご挨拶とさせていただきます。本日もどうぞよろしくお願いいたします。

○小川指導主事

続きまして、長坂会長、ご挨拶をお願いいたします。

○長坂会長

皆さんこんばんは。このメンバーでのこの専門家会議も随分会を重ねてきております。数年にわたって同じ事案が扱われるようなこともあって、同じような意見が出ることも起こりがちのように思いますが、会を重ねるごとに同じような意見や議論でも深まりを見せるようなこともあって、専門家会議として有意義な助言を発出することができているように思います。今日も皆さん、積極的なご意見やご議論をよろしくお願いいたします。

○小川指導主事

どうもありがとうございました。

それでは、この後の進行につきましては、同条例第 15 条第 2 項に基づきまして、長坂会長にお願いいたします。

○長坂会長

まず議事に入ります前に、会議の公開・非公開について確認いたします。

事務局に確認します。本日の議事に松江市情報公開条例第 30 条に該当する報告・協議事項は含まれていますか。

○奥原室長

失礼します。本日はすべての協議事項に個人が特定される情報を含んでおりますので、議事については非公開とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

○長坂会長

専門委員の皆様もよろしいですね。

では、承認が得られたということで、本日の協議等につきましては非公開とさせていただきます。

以下、非公開